

野生動物リハビリテーターとは？

『私たちは傷ついた野生動物の代弁者です』

人間の生活空間や経済活動の広がりに伴い、人為的な原因により野生動物が傷つくことが増えています。

こうした野生動物を救護し野生復帰させる活動を通して自然の仕組みを理解し、自然環境の保全再生や人と野生動物の共生を目指して活動しています。

神奈川県野生動物リハビリテーターは、WRV 神奈川支部に認定されたボランティアです。



おもな活動

保護された野生動物の飼育活動と野生復帰補助

動物園での傷病鳥獣保護事業のサポート

イベントや学校での環境教育や普及啓発活動

現状把握のための野外調査、データ収集・展示



動物園での普及啓発活動



ヒナの給餌



イワツバメの放野



動物園傷病棟での活動

ヒナの誤認保護注意喚起 (2025年 SOS展テーマ)

ヒナをひろわないで!!

どうしてひろったらいけないの？

すだつたばかりのヒナ (なんのヒナでしょうか？ 答えは「」)



親鳥が近くにいます。
巣から出たばかりのヒナは、まだじょうずに飛べません。
巣を出てから、飛ぶ練習をしたり、えさの取り方などを
おやどりで教わります。

人は親鳥のかわりにはなれません。

**とべないヒナを見つけても
ひろわないで！
つかまえないで!!
そっから見守ってね!!!**

みまも

見たことあるかな？ (町にもいる身近な野鳥)






詳しくはホームページにて

WRV 神奈川支部 HP 『とまり木』

<https://wrv-kanagawa.net/>